

危機管理士1級 勉強会レポート

2023年3月25日（土）

危機管理士1級取得者5名の方に、Zoomを使用したオンラインによる研究発表をしていただきました。

■「国土強靱化地域計画+DX」による八丈町職員訓練の支援

中尾 毅様（株式会社オリエンタルコンサルタント）

国土強靱化地域計画の策定の現状と地域防災計画との違いを説明し、国土強靱化地域計画は、内容に具体性・実効性がないこと、そのために訓練の実施例もないことが問題との説明がありました。解決策として、強靱化地域計画の見直し、DXを活用した「強靱化」を挙げられました。また、この解決策に基づいた東京都八丈島における取組みについてご発表いただきました。具体的には、計画に基づいた職員訓練、八丈島3Dアイランド・マップによるハザードの視覚化などの取組みなどのご発表いただき、今後の課題を提示されました。

■横須賀市の自主防災組織

鵜飼 進様（神奈川県 横須賀市）

人口38万8千人の横須賀市は、起伏の多い丘陵及び「谷戸」と呼ばれる市街地が形成され、過去に人的被害や住宅被害を伴う災害が発生し、市は危機管理課と地域安全課が連携して防災対策に当たっていることを説明されました。また、市内町内会の自主防災組織の結成率は99.2%で連絡協議会が活動の推進や情報交換などを行なっていること。自主防災指導員育成講習会や避難所運営訓練を行なっているが、加入率低下、担い手不足などの課題があり、新たに、避難所支援班員の拡充などの取組みを行っていることをご発表いただきました。

■感染症危機管理における学生スポーツ団体の組織行動マネジメント事例

山崎 淳一郎様（岡山大学）

通算して3回のクラスター感染を起こした学生スポーツ団体に対して、リスクマネジメント・危機管理、行動科学マネジメント、パーパス・エンジニアリングの観点から介入し、型通りの感染防止対策のみにフォーカスするのではなく、組織のパーパス（志、存在意義）から振り返り、構成員の行動変容、意識変容、組織改善につなげた実践事例をご発表いただきました。行動科学マネジメントとは、人間の行動を科学的に研究する行動分析から生まれた手法で、日常の問題解決に役立てようとする応用行動分析学に基づいた事例でした。

■「戦略的なERMとは」

阿知波正道様（SOMPO リスクマネジメント株式会社）

リスクマネジメントは、社会の変容とともに、各部門による個別リスク対策の立案と実施などによる「サイロ型リスクマネジメント」（フェーズ 1）から、全社的な経営管理活動などによる「統合型（ERM）リスクマネジメント」（フェーズ 2）へと進化し、今後は、経営戦略としての戦略的リスクマネジメント（フェーズ 3）へと進化する。ERM のメリットは、リスクマネジメントの効率化、ステークホルダーからのリスクマネジメントに対する信頼向上、競争優位であるとし、最後に同社における取り組み事例をご発表いただきました。

■食品表示から考える日本の食料政策 -最新動向-

宇川 麻美様（合同会社オフィス UKAWA）

食品表示の基本として、主な食品の法律、食品表示の目的、フードチェーンの流れ、食品表示の大まかな分類、トレーサビリティ法で規定されている食品、アレルギー表示などについてご説明されました。その上で、食品表示法に関する最新動向として、特定原材料 7 品目から 8 品目へ、食品添加物の不使用表示に関するガイドライン策定、遺伝子組み換え表示の改正、産地偽装問題（まぐろ、しじみ）、海外流出防止と食品表示ルールの見直しについて、ご発表いただきました。

コロナの感染収束に至らず、今年も Zoom での開催となりました。

この 2 年で Zoom が身近なものとなり、多くの 1 級会員の方にご参加いただきました。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。